

### ③ 中学校英語科教員授業力向上研修会

#### 1 ねらい

本研修においては中学校英語科教員の授業力向上を目指すことを目的とする。中学校英語科教員にはベテラン教員が多く、指導法にも確立したものをもっている。更にそれぞれの指導力を高めるために、優れた英語授業を参観し、自分の指導を見直しつつ、現在の英語教育のニーズにも焦点を当て、学力向上を目指した新たな指導方法やスキルの獲得を目指す研修とする。

#### 2 期 日

平成27年1月16日（金）

#### 3 研修会テーマ

『生徒が積極的にコミュニケーションを図る授業の創造』

#### 4 研究授業

影森中学校 丸山あゆみ 教諭、 ウェイド・ジェンキンス（ALT）

#### 5 参加者

市内小・中学校教諭 19名、他町中学校教諭 6名

#### 6 指導者

北部教育事務所 川田博樹 指導主事

秩父市教育研究所 矢口岳人 指導主事

#### 7 日程等

- ・趣旨説明 13:25～13:35
- ・研究授業 13:40～14:30
- ・研究協議 14:50～16:10
- ・指導講評 16:10～16:30
- ・閉会行事 16:30～16:40



#### 8 参加教員の主な感想

- 改めて英語における「コミュニケーション」の重要性とその難しさを感じました。しかし、自分の授業を思い返してみると、うまくコミュニケーションに運べないと文法に頼ってしまいがちであるということがあります。本当に生徒が自ら、相手の意見を聞きたい！自分の意見を言いたい！と思えるようなテーマをしっかりとって授業に臨んでいかなくてはならないと思います。
- 中学校の授業を見ることができ、小学校での外国語活動をどう進めていくのか考える良いチャンスとなった気がします。教師も英語の勉強をし直さなくてはいけないと思います。2020年をチャンスとし、変わっていくための何かを探したいです。お世話になりました。

#### 9 成果と課題

##### (1) 成 果

- 生徒が活発にコミュニケーションを図るしかけを教師がいかに授業の中で作り出していかを授業を通して具体的なアイデアを共有することができた。
- 小学校の先生方が参観することで、小学校で行われている外国語活動の延長上にある子どもたちのイメージをもつことができた。

##### (2) 課題・次年度への検討事項

- より小・中連携の大切さを理解し、具体的な接続の方法を研修していく必要がある。

### 3 個を大切にする研修講座

#### 1 生徒指導・教育相談中級研修会

##### 1 ねらい

本研修会参加者が、校内の生徒指導・教育相談の推進者として必要な理論・技法、態度等を習得し、生徒指導の組織と活動の充実に積極的に寄与できる実践力の向上を図る。

##### 2 参加者 秩父郡市小・中学校教職員の希望者（9名参加）

##### 3 実施の概要

回	日時・会場	指導者・内容
第1日	8月1日（金） 午前9時～午後4時45分 横瀬町民会館	秩父市立西小学校 教諭 出浦美由紀 ◇開会行事・オリエンテーション ◇講義 生徒指導上の課題解決を目指して ◇演習 ロールプレイング ◇面接練習Ⅰ 人間関係づくり、面接の基本
第2日	8月4日（月） 午前9時～午後4時45分 小鹿野町役場 両神庁舎	小鹿野町立三田川小学校 教頭 高橋 欣也 ◇演習 B方式による事例研修 ◇面接練習Ⅱ 信頼関係づくりの重要性
第3日	8月5日（火） 午前9時～午後4時45分 秩父市芸術会館 会議室	長瀬町立長瀬中学校 主幹教諭 旭 和久 ◇面接練習Ⅲ 問題の核心をつかむ ◇面接練習Ⅳ 問題解決に向けた指導・援助

##### 4 参加教員の主な感想

○ 5つの技法、7つの処置など子どもや保護者とのやり取りの中での具体的な導き方を教えていただき、大変勉強になりました。ロールプレイングでは、よくない教師役を演じたことで、普段の自分が思い浮かび、「ドキッ」としました。今までの子どもとの関わりを振り返り、子どもたちのためにどうしてよいか改めて見つめなおすことができました。「受け止めてもらっている」「認めてもらっている」「この人はわかってきている」という存在になれるよう、日頃から子ども達や保護者との関係づくりを大切に積み上げたいと思います。



○ 面接技法の中の「適切な処置」で、自己開示という方法がありましたが、自分がこれまで苦手としていて、なかなか積極的にできないものでした。今回の演習でその効果を知り、苦手意識も克服できたので、今後進んで取り入れていきたいと思います。今後も「頼りにされる先生」になれるよう、励んで行きたいと思います。

##### 5 成果と課題

###### (1) 成果

- 9人という参加者による集中的な研修であったため、参加者一人一人が面接演習等にも十分に時間をかけて意欲的、主体的に研修に取り組んでいた。
- 期日や会場、また参加者等について他町教育委員会と連携して行うことができた。

###### (2) 課題・次年度への検討事項

- 秩父地区の他町教育委員会との連携・協力を図りながら、生徒指導・教育相談上級研修会を受講できるように配慮し、より多くの指導者となる人材を育成していく必要がある。

## 2 さわやか相談員研修会

### 1 ねらい

- 相談者への適切な支援の在り方を学ぶとともに、学校職員・家庭・関係機関との連携方法についての理解を深める。
- さわやか相談室の効果的な運営方法やカウンセリング技能についての理解を深める。

- 2 参加者 市内各中学校に配置されているさわやか相談員 10名  
 スクールソーシャルワーカー兼教育相談員 1名  
 臨床心理士 1名 研究所員 1～2名

### 3 実施の概要

回	月	日	曜	時間	内 容	会 場
第1回	4	1	火	15:00 } 16:30	・辞令交付式 ・さわやか相談員の職務・サービスについて ・相談業務に係わる事務等の説明	芸術文化会館・ひまわり教室
第2回	5	14	水	14:30 } 16:40	・相談室見学 ・グループ別演習 「4月からの業務を振り返って」 「小学校訪問のあり方について」	秩父第二中学校
第3回	7	10	木	14:30 } 16:40	・相談室見学 ・グループ別演習 「さわやか相談員の心構えについて」 「夏季休業中の業務について」	荒川中学校
第4回	9	18	木	14:30 } 16:40	・相談室見学 ・グループ別演習 「2学期当初の相談活動について」 ・偏愛マップを使ったコミュニケーション法	吉田中学校
第5回	10	8	水	14:30 } 16:40	・相談室見学 ・グループ別演習 「身近なネットトラブルの事例について」 ・グループワークトレーニング	高篠中学校
第6回	12	11	木	14:15 } 16:40	・グループ別演習 「勤務校での相談活動における課題」 ・講演 教育研究所 勅使河原一郎先生	芸術文化会館・会議室
第7回	1	14	水	14:15 } 16:40	・グループ演習 ・講義・演習 「3学期の相談活動について」 「8コマまんが」 指導者 森祐子先生	芸術文化会館・会議室
第8回	3	18	水	15:00 } 16:40	・相談室見学 ・グループ別演習 「一年間の活動のまとめ」 「来年度に向けての引き継ぎ事項」	尾田蒔中学校

※県主催の「市町村配置相談員研修会」は4/23(水)、6/4(水)、8/19(火)、12/2(火)に実施された。

### 4 研修内容

#### (1) 第1回

さわやか相談員としてのサービスの在り方や提出書類の確認などを行った。

#### (2) 第2回

秩父第二中学校の相談室見学及び「小学校訪問のあり方」をテーマにグループ別演習を行った。

(3) 第3回

荒川中学校の相談室・校内見学及び「相談員の心構え」、「夏季休業中の業務について」をテーマにグループ別演習を行った。



(4) 第4回

吉田中学校の相談室・校内見学及び「2学期当初の相談活動について」をテーマにグループ別演習を行い、「偏愛マップ」を用いたコミュニケーションについて演習を行った。

(5) 第5回

高篠中学校の相談室・校内見学及び「身近なネットトラブルの事例について」をテーマにグループ別演習を行った。またグループワークトレーニングを体験し、人間関係作りについて研修を行った。

(6) 第6回

「勤務校での相談活動における課題」をテーマにグループ別演習を行った。また、いじめ・不登校対策委員会における、勅使河原一郎先生の講演会に参加した。

(7) 第7回

研修会前半は、「3学期の相談活動について」をテーマにグループ別演習を行った。また後半には臨床心理士の森祐子氏による「8コママンガ」と題して講義・演習を行い、コミュニケーション法の一つを実際に体験した。

(8) 第8回

一年間の成果と課題について情報交換した。成果については共有して今後の各自の相談活動に役立てていけるよう配慮した。

5 本市における身近な相談員の活動状況（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

相談者の内訳（延べ人数）				相談員が扱った中学生の相談				
相談者	男子	女子	合計	相談項目	実件数	延べ人数		
						男子	女子	合計
小学生	45	92	137	いじめ	8	3	7	10
中学生	1,244	1,967	3,211	不登校	52	581	873	1,454
小学生保護者	4	45	49	友人関係	110	96	461	557
中学生保護者	102	468	570	性格・行動	110	188	104	292
教職員	217	362	579	学業等	33	43	67	110
その他	15	242	257	その他	174	333	455	788
合計	1,627	3,176	4,803	合計	487	1,244	1,967	3,211

※市町村配置の身近な相談員活動状況等に関する調査から抜粋（県教委実施）

6 成果と課題

(1) 成果

- 各相談室の見学を実施し、よりよい相談室運営についての考えを共有できた。
- さわやか相談員同士のグループ別演習やグループワーク等を行い、互いのカウンセリング技能を向上させ、効果的なスキルアップが図れた。
- スクールソーシャルワーカー兼教育相談室長からの指導講評を通して、相談員の悩みの解消が図られ、ひまわり教室や他機関との連携が図れた。

(2) 課題・次年度への検討事項

- さわやか相談員と教育相談室等が情報を随時取り合い、連携をさらに充実させる。
- さわやか相談員の小学校訪問が全中学校区で実施できるようにする必要がある。

## 4 チャレンジスクール事業

### 1 学力向上チャレンジスクール

#### 1 ねらい

児童を年齢の近い世代である学生等ボランティアと触れ合わせるにより、近い将来における生き方を考えさせるとともに、学習活動に関する興味や関心を引き出し、児童に学ぶ楽しさを教え、基礎学力の向上を図る。

#### 2 参加対象

秩父市内小学校4年生～6年生

#### 3 指導者

学生等ボランティア（埼玉県立秩父高等学校生徒）

#### 4 会場

埼玉県立秩父高等学校研修室（図書館2階）

#### 5 参加人数

	8 / 6	8 / 7	応募者 71名
小学生	66名	68名	延 134名
高校生	28名	32名	延 60名

#### 6 日程等

参加児童は、各自の学習課題を持ち寄り、ボランティアの支援を受けながら課題解決に向けた自主学習に取り組む。

期 日	日 程	参加人数
第1日目 8月6日（水）	9：00～ 9：20 開校式	小学生 66名
	9：20～10：00 100マス計算	高校生 28名
	10：00～10：45 自主学習①	合 計 94名
	11：00～11：45 自主学習②	
	11：45～12：00 終わりの会	
第2日目 8月7日（木）	9：00～ 9：10 朝の会	小学生 69名
	9：20～10：00 100マス計算	高校生 32名
	10：00～10：45 自主学習①	合 計 101名
	10：45～11：00 校舎内見学	
	11：00～11：45 自主学習②	
	11：45～12：00 閉校式	

## 7 チャレンジスクールのようす



受付・開校式のようす



校舎内見学のようす



自主学习での小学生と高校生との交流のようす

## 8 参加者の主な感想

### (1) 小学生

- お姉さんがとてもわかりやすく教えてくれてよかったです。1日目は、苦手な「図形」を教えてもらいよかったです。2日目は「計算」をわかりやすく教えてもらいました。私は来年も「学力向上チャレンジスクール」に来られたらいいなと思います。とっっても勉強が好きになりました。(4年生)
- 2日間で、たくさんの宿題ができたので、良かったです。わからなかったところが、高校生のお姉さんに教えてもらってわかるようになったのでよかったです。高校生のお姉さんが分かりやすく、優しく教えてくれたのでとても嬉しかったです。去年も参加したけれど、去年よりも宿題が多くできて楽しかったので、また来年も参加したくなりました。学校内の見学で校舎の中を見られたので良かったです。(5年生)
- 高校生の人たちがわかりやすく教えてくれたので、勉強がはかどりました。1日目と2日目、教える高校生が違ったけど、1日目と2日目の高校生は2人とも優しいし、分かりやすく勉強を教えてくれたのでうれしかったです。参加して高校のお姉さん、お兄さんと色々なことを話せたのでよかったです。高校生の人たちが自分の姉妹のように感じました。(6年生)

### (2) 高校生

- 初めて自分の妹以外の人に教えたので、正直、不安でしたが、小学生の「わかった！」という声を聞く度に、励みになりました。またたくさん色々なことを話せて仲良くなれました。教えることの楽しさ、難しさ、様々なことを今回の体験を通して学ぶことができました。是非、来年以降も参加して、自分自身の未来へとつなげていけたらいいと思っています。(1年生)
- 子どもから言われる「ありがとう」の大きさを感じた2日間でした。そんなに上手に教えられたわけではないはずなのに、「できた！わかった！ありがとう！」と言われて今年もこの企画に参加して良かったなと思いました。来年も、機会があれば参加したいです。なりたいもの、目指したいものが明確になった2日間でもありました。(2年生)

## 9 成果と課題

### (1) 成果

- 多くの児童が意欲的に集中して学習に取り組めたという感想を寄せていた。
- 校舎見学を高校生が案内することで、高校への興味を児童に持たせることができた。
- 高校生は将来を見据えた体験ができ、貴重な体験だったと参加者から感想を多数いただいた。

### (2) 課題・次年度への検討事項

- 2日間の開催を継続し、より高校生のアイデアを反映されるような事業にしていく必要がある。

## 2 小学生と高校生のふれあい体験

### 1 ねらい

小学生が各専門学科に所属する高校生の支援を受けたり交流を図ったりしながら体験的な学習に取り組み、専門的スキルを身につけたり、新たな発見をしたりすることを通して、学習意欲の向上を図る。

### 2 参加対象

秩父市内小学生（講座により対象学年の違いあり）

### 3 指導者

埼玉県立秩父農工科学高等学校教員および生徒

### 4 会場

埼玉県立秩父農工科学高等学校（各学科での実習室等）

### 5 参加人数

(1) 内訳（小学生165名、保護者118名、高校教員37名、高校生119名）

	小学生	保護者	高校教員	高校生	合計
① 農業科	29	23	4	20	76
② 森林科学科	14	10	2	6	32
③ 食品化学科	23	15	5	12	55
④ 電気システム科	18	15	6	20	59
⑤ 機械システム科	13	10	4	6	33
⑥ 電子機械科	28	26	6	32	92
⑦ ライフデザイン科	19	12	5	10	46
⑧ フードデザイン科	21	7	5	13	46
合計	165	118	37	119	439

### 6 日程等

月	日	曜	タイトル	内容	対象	募集人数	備考
10	18	土	【① 農業科】 草花の寄せ植え体験、サツマイモ掘り体験	花の鉢上げ、寄せ植えとサツマイモ掘りを体験します。土に触れる良い機会です。	4年生以下	33人	【時間】 10:00～12:00 【費用】200円
7	19	土	【② 森林科学科】 巣箱を作ろう！	のこぎりやトンカチを使って、巣箱の作製を体験します。家に持ち帰り、巣箱を取り付け、野鳥の観察をしてみましょう。	全学年	16人	【時間】 9:30～11:30 【費用】300円



8	1	金	【③食品化学科】 ジャム・お菓子を 作ろう！	ジャム作り、お菓子作りを体験します。調理方法を覚えて、お家でも作ってみましょう。	4年生以上	26人	【時間】 13:00～15:00 【費用】500円
8	5	火	【④電気システム科】 新エネルギー体験 ～風力発電工作～	ペットボトルを利用して、オリジナル風車発電機をつくります。	全学年	20人	【時間】 10:00～12:00 【費用】500円
8	6	水	【⑤機械システム科】 モデルロケットを 作ろう！	モデルロケットを製作します。（雨天時はアルミ缶クラフト&オリジナル印鑑の製作を行います）	全学年	12人	【時間】 9:30～11:30 【費用】500円
8	1	金	【⑥電子機械科】 自然エネルギーを 利用した工作体験 ！	自然エネルギーを利用した工作を行います。自然のエネルギーを体験できる楽しいキットです。	全学年	30人	【時間】 13:00～15:00 【費用】2000円
8	4	月	【⑦ライフデザイン科】 オリジナルトート バッグを作ろう！	ミシンを使って、オリジナルのトートバックを製作します。	5年生以上	20人	【時間】 10:00～12:00 【費用】200円
8	1	金	【⑧フードデザイン科】 楽しく簡単、クッキング！	「パンケーキ」と「スムージー」作りを体験します。調理方法を覚えて、お家でも作ってみましょう。	5年生以上	22人	【時間】 10:00～12:00 【費用】200円

## 7 小学生と高校生とのふれあい体験のようす

### ① 農業科 「草花の寄せ植え体験、サツマイモ掘り体験」



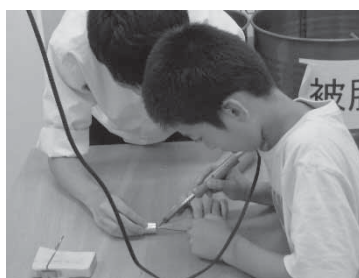
② 森林科学科 「巣箱を作ろう！」



③ 食品化学科 「ジャム・お菓子を作ろう！」



④ 電気システム科 「新エネルギー体験 ～風力発電工作～」



⑤ 機械システム科 「モデルロケットを作ろう！」



⑥ 電子機械科 「自然エネルギーを利用した工作体験！」



⑦ ライフデザイン科 「オリジナルトートバッグを作ろう！」



⑧ フードデザイン科 「楽しく簡単、クッキング！ ～パンケーキ&スムージー」



## 8 参加者の主な感想

### (1) 小学生

○ モデルロケットを作るのは難しいところがあったけれど、高校生のお兄さんが教えてくれたので上手にできました。飛ばすときには、たくさん飛んでよかったです。またやりたいと思いました。  
(⑤機械システム科に参加)

○ マーラーカオは、混ぜたり型に入れたりするのがとても楽しかったです。作り方を教えてもらったので、家でも作りたいと思います。ジャム作りは、糖度を調べたり、びんに入れたり、ジャムを混ぜたりいろいろな工夫があることがわかりました。

(③食品化学科に参加)

### (2) 保護者

○ 先生方や高校生の皆さんが丁寧に親しみ深く教えて下さったので、子供も進んで作ることができたように思います。ミシンのちょっとしたコツや線の引き方のコツなどを教えていただいたので、これから洋裁に関心を持ってくれたらうれしいです。ありがとうございました。  
(⑦ライフデザイン科に参加)

## 9 成果と課題

### (1) 成果

○ 募集人数179名のところ、応募総数305名だったため抽選で参加者を決定した。参加した児童は、高校生の支援を受けながら体験学習に意欲的に取り組む様子が見られた。学んだことを生かして、家でも作ってみたいという児童が数多くいた。

### (2) 課題・次年度への検討事項

○ 参加者にとってより充実した講座になるよう、秩父農工科学高等学校と十分連携を図りながら計画を検討したい。

### ③ フォローアップ・スクール

- 1 **ねらい** 中学生が教員を目指す大学生から学習支援を受けて自主学習に取り組むことにより、異年齢交流を図るとともに学習意欲を高め基礎学力の向上を図る。
- 2 **期 日** 平成26年12月25日（木）26日（金）〔2日間〕
- 3 **会 場** 芸術文化会館・吉田公民館・荒川公民館 〔3会場〕
- 4 **参加者** 秩父市内中学生
- 5 **指導者** 教職を目指す大学生ボランティア
- 6 **参加人数**

中学生		芸術文化会館	吉田公民館	荒川公民館	計
	25日	12	12	27	51
	26日	9	11	24	44
	計	21	23	51	95

大学生		芸術文化会館	吉田公民館	荒川公民館	計
	25日	5	4	4	13
	26日	5	5	5	15
	計	10	9	9	28

- 7 **日程等** 参加生徒は、各自の学習課題（ドリルや問題集等）を持参して、ボランティアの支援を受けながら課題解決に向けた自主学習に取り組む。

時刻	内容	
13:00～13:10	始まりの会 (10分間)	
13:10～14:00	【自主学習】 1時間目	(50分間)
14:00～14:10	—休み時間— (10分間)	
14:10～15:00	【自主学習】 2時間目	(50分間)
15:00～15:10	—休み時間— (10分間)	
15:10～15:50	【自主学習】 3時間目	(40分間)
15:50～16:00	終わりの会 (10分間)	

- 8 **中学生・大学生の取組のようす**



芸術文化会館



吉田公民館



荒川公民館

## 9 参加者の主な感想

### (1) 中学生

- みんなが集中して自分の課題に取り組んでいて、私も頑張らなければいけないという気持ちになれたので、家にいるときよりも集中できたし、勉強もはかどりました。
- 静かな環境で集中して勉強でき、わからないところは大学生がわかりやすく解説してくれたので、よかったです。自分から聞くことで、いろいろなこと教えてもらい、参加してよかったと思いました。
- 苦手な教科で、一人では解けなかったところがあり、それをわかりやすく教えていただき、とてもよかったです。中学最後の学年なので来年は参加できませんが、このような事業がこれからの続いていくといいなと思います。
- 休憩時間も大学生と話しができてとても楽しかったです。勉強を教えてくれたり、話しをしてくれたりとてもよかったです。大学生の皆さんの貴重な冬休みの2日間を私たちのためにつかってくださり、ありがとうございました。

### (2) 大学生

- どのように教えればわかりやすいのか、声をかけるタイミングは今でいいのかなど、自分の教える力をつけることができました。また、生徒とふれあうことで、より教員になりたいという気持ちが強まりました。
- 個別指導では、一人一人の得意不得意、なぜミスをしてしまったのかを見取るのが難しいことを痛感しました。大変勉強になりました。これからも学び続けます。
- 「考え方」を教えるという点で、まだまだ力不足であると痛感しました。今回のフォローアップを契機に、さらに教える力を磨きたいと再確認しました。
- 教員を目指しているということもあり、自分自身の勉強にもなりました。問題が解けた時の中学生の表情を見ると、“先生になりたい”という意欲が強くなりました。

## 10 中学生の自己評価

中学生 [3会場合計]	(回答数 44)	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
(1) 集中して勉強できた		34	10	0	0
(2) 学習意欲が高まった		28	14	1	1
(3) わからないところがわかるようになった		33	10	1	0
(4) 大学生は、わかりやすく教えてくれた		40	4	0	0
(5) また、参加したい		39	4	0	1

## 11 成果と課題

### (1) 成果

- 募集期間の延長等により、多くの中学生(延べ95名)を参加させることができた。
- 中学生と大学生の異年齢交流を通して学習意欲の向上につなげることができた。

### (2) 課題・次年度への検討事項

- 事前の周知方法を工夫・強化し、参加中学生・大学生の参加者数を増加させる。